



東屋風建築で、寄せ棟の屋根を七寸角の4本柱で支え、25平方メートルの床面積を有し屋根は銅板葺き、鬼瓦の棟には、みのわ産柏山の瓦を使用し、前田家家紋の梅鉢を金色で形どっている。

「水面に浮かぶ如き」緑翠亭である。

「緑翠亭について」

緑翠亭建立
高岡古城公園は、自然美をとどめる名園として古くより高岡市民の憩いの場として親しまれ愛されております。公園内の中之島には、昭和30年後半まで優美な茶室が建てられていたのをご記憶の方々も多いと思います。名の「緑翠亭」は掘高岡市長より命名を頂きました。ここを訪れる方々は、春は桜、夏は緑と樹々を通り抜ける風、秋の紅葉、冬の雪景色など四季折々の美しさを尚一層楽しみ、親んでいたただける施設になる事を念願して建立されました。



慰霊碑建立
慰霊碑とは広辞苑に「死者の霊を慰めるシンボル」とある。その霊に対し敬意をこめた愛惜の念を表現するものであり、且つ全宗派を超越したものでなくてはならない。この条件を見なすものは「合掌の心」そのものと考えられる。動物園は子供の国でもあるのでこの観念思考を具象化するにあたっては幼い子供達の心にも説得し易いものでなくてはならない。子ども達も敬神・念仏の心を無意識的のうちに合掌で表すことを会得している。逝った動物達の霊に対していつまでも「合掌の心」をもって慰めてやって欲しいと願うものです。



C N .10 周年記念事業
高岡古城公園内 遊具一式
しきの愛の園 休憩所一棟

